

○選択領域

| | |
|-------------|---|
| 講習番号 | 選一4 |
| 講習名 | 高等数学から見た高校数学単元「数列」「確率」「ベクトル」の意義 |
| 日程・時間 | 8月21日(水) 9:15~16:45 |
| 時間数 | 6時間 |
| 受講料 | 6,000円 |
| 担当講師 | 上村 稔大、長井 英生 |
| 募集人員 | 40人 |
| 概要 | <p>高等学校で学ぶ数学の分野について、二つのトピックを取り上げて説明をしたいと思 います。一つ目は、「数列」の内容から初めて、それが不規則な現象を解析するための 「確率・統計」のツールとして役に立つことを、具体例を通して説明します。一方、「ベ クトル」については、“一次独立(従属)性”、“直交性”、“内積”の諸概念を学びます が、それらは大学で学ぶ一般的な「ベクトル空間」(線形空間)の枠組みのもとで定義 され、数学的な対象の考察に活かされます。二つ目のトピックは、「直交多項式」の入 門的内容を取り上げ、上記概念を用いた考察が、どのように展開されるか、垣間見るこ とにします。</p> |
| キーワード | 「数列と金利モデル」、「確率分布」、「直交多項式」、「再帰関係式」 |
| 受講者へのメッセージ | <p>高等学校までに学ぶ数学的な諸概念は、抽象化されることにより、数学的実体として見 通しがよくなることを体現してもらいたいと思います。</p> |
| 対象免許種(対象職種) | 教諭 |
| 主な受講対象者 | 中学校・高等学校(数学)教諭 |